

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 1			＜教務部＞																								
	生徒	保護者	教員																								
	あなたは、朝の基礎学習に取り組んで学力が ついてきてる。	-	生徒は、朝の基礎学習に取り組んで学力が ついてきた。																								
結果	<table border="1"> <caption>調査結果 (朝の基礎学習)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>8%</td> <td>70%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>34%</td> <td>53%</td> <td>12%</td> <td>1%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	A	B	C	D	無回答	教員	8%	70%	20%	0%	3%	保護者	0%	0%	0%	0%	0%	生徒	34%	53%	12%	1%	0%
対象者	A	B	C	D	無回答																						
教員	8%	70%	20%	0%	3%																						
保護者	0%	0%	0%	0%	0%																						
生徒	34%	53%	12%	1%	0%																						
原因 及び 反省	<p>○昨年度の生徒の回答と比較すると、A・Bの合計が83%→87%と4ポイント増加した。プリントの提出を課していなかった年度は65%だったことからすると、成績や授業、基礎学テストとの連動学習により、基礎学力の定着や実感を持てるようになってきたと考えられる。</p> <p>○朝の学習の成果が、教科担任以外の教員に見えにくい。</p>																										
改善策	<p>○取り組みは概ね良好であり、今後も学習に取り組む姿勢を指導していく。授業の予習や復習としての位置づけとしても有用であるため、これに自主的に取り組む姿勢を育てたい。</p> <p>○基礎学テストの結果を教員に示し、生徒の状況や変化を共有する。</p>																										

意識調査No. 2			＜教務部＞																								
	生徒	保護者	教員																								
	あなたは、家庭で勉強をしている。	お子さんは、家庭で勉強をしている。	あなたは、家庭で学習できる指導をしている。																								
結果	<table border="1"> <caption>調査結果 (家庭学習)</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>13%</td> <td>63%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>16%</td> <td>44%</td> <td>33%</td> <td>7%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>10%</td> <td>31%</td> <td>49%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	A	B	C	D	無回答	教員	13%	63%	20%	0%	5%	保護者	16%	44%	33%	7%	0%	生徒	10%	31%	49%	10%	0%
対象者	A	B	C	D	無回答																						
教員	13%	63%	20%	0%	5%																						
保護者	16%	44%	33%	7%	0%																						
生徒	10%	31%	49%	10%	0%																						
原因 及び 反省	<p>○昨年度の回答と比較すると生徒・保護者・教員のすべてで、A・Bの合計が10ポイント程度向上している。生徒は学校休業期間の課題に取り組むこと、保護者はその様子を見かけるなど、教員も課題配布などを定期的に行ったことが読み取れる。</p> <p>○学年が上がるにつれ、家庭学習の時間は減少している。例年だと、Aの割合は2・3年生の方が大きく、進路目標や資格取得など学習の目的がはっきりしている様子を示すが、今年度はいまだに学習の目的を見出せない生徒の割合が大きい傾向がある。</p>																										
改善策	<p>○スタディサプリを活用した課題配信など、学習方法の多様化に向けた指導方法を理解できる研修機会を設ける。</p> <p>○生徒へ資格取得の有用性の認知、自己目標や希望の実現に向けた学習習慣を身に着ける必要性について繰り返し指導を行う。</p>																										

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 3		<教務部>	
	生徒	保護者	教員
	先生方はわかりやすい授業の工夫をしている。	あなたは、授業参観の機会があれば参加したいと思っている。	あなたは授業の工夫改善に努めている。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 45%	A, 33%	A, 37%
	B, 55%	B, 46%	B, 51%
	C, 0%	C, 19%	C, 10%
			D, 1%
			無回答, 0%
原因及び反省	<p>○昨年度の同時期のアンケートでは生徒のAの回答が27%から37%と10ポイント増加した。各教員が生徒重視の授業を心がけている結果である。</p> <p>○C・Dの合計も15%から11%と、改善されており、先生方の工夫を生徒が実感している傾向にあると言える。</p> <p>○保護者の授業への関心は例年通り高めである。</p>		
改善策	<p>○授業力向上研修会は、教員同士が、教科を超えた効果的な学習指導方法の共有ができる体制となっており、今後も機会を維持する。</p> <p>○アクティブラーニングの手法や、ICT教材、視覚教材などを用いた工夫や授業中の指示の明確化を実践していく。</p>		

意識調査No. 4		<生徒指導部・保健部>	
	生徒	保護者	教員
	あなたは、遅刻・欠席・早退をしないように心がけている。	あなたは、お子さんが遅刻・欠席・早退をしないように努めている。	あなたは、生徒が遅刻・欠席・早退をしないように指導している。
結果	教員	保護者	生徒
	A, 45%	A, 76%	A, 72%
	B, 53%	B, 21%	B, 21%
	C, 3%	C, 2%	C, 7%
			D, 0%
			D, 0%
原因及び反省	<p>○教員が思っている以上に生徒・保護者は意識している。一部の生徒の対応で自信を持ってない部分がある。</p>		
改善策	<p>○一部の生徒へのアプローチの仕方</p>		

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 5		<生徒指導部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは服装・頭髪など、自らの身だしなみを整えている。	学校は服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。	学校は服装・頭髪など、生徒自らが身だしなみを整えられる指導を適切に行っている。
結果	教員	A, 38%	B, 55%	C, 5% D, 3%
	保護者	A, 63%	B, 31%	C, 6% D, 1% 無回答, 0%
	生徒	A, 55%	B, 36%	C, 9% D, 0%
原因及び反省	<p>○生徒、保護者は教員が思っている以上に意識を持っている。 ○一部の生徒への対応で苦戦をすることがある。</p>			
改善策	<p>○生徒、保護者は教員が思っている以上に意識を持っている。</p>			

意識調査No. 6		<生徒指導部・農業部>		
		生徒	保護者	教員
		あなたは、部活動や農業クラブに積極的に参加して活動している。	お子さんは、部活動や農業クラブに積極的に参加して活動している。	あなたは、生徒が部活動や農業クラブに積極的に参加して活動するように指導している。
結果	教員	A, 40%	B, 50%	C, 10% D, 0%
	保護者	A, 51%	B, 24%	C, 21% D, 4% 無回答, 0%
	生徒	A, 39%	B, 28%	C, 24% D, 9%
原因及び反省	<p>○生徒は4割～6割 私たちとしてはもの足りない。</p>			
改善策	<p>○施設・設備を整備し、充実させて魅力ある環境作り。</p>			

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 7		＜生徒指導部・保健部＞		
	生徒	保護者	教員	
	あなたは、高校生活をとおして以前より自信が持てるようになった。	お子さんは、高校生活をとおして以前より自信を持つようになった。	生徒は、学校生活をとおして以前より自信を持つようになった。	
結果	教員			
	保護者			
	生徒			
原因及び反省	○コロナ禍で制限されている中での8割超は評価できる。（何に対する自信なのか不明）			
	○さらに生徒が活動できる場面を提供し、自己肯定感を育んでいきたい。			
改善策	○さらに生徒が活動できる場面を提供し、自己肯定感を育んでいきたい。			

意識調査No. 8		＜進路指導部＞		
	生徒	保護者	教員	
	あなたは、進路行事を通して卒業後の進路を考えるようになった。	お子さんは、進路行事を通して卒業後の進路を考えるようになった。	生徒は、進路行事を通して卒業後の進路を考えるようになった。	
結果	教員			
	保護者			
	生徒			
原因及び反省	○ホームページやメール配信システムによる進路行事の情報発信を強化したことにより、昨年同期の数値と比べて数値が10%増加した。			
	○生徒の数値が昨年同期の同程度であるため、働きかけを強めていきたい。			
改善策	○生徒の数値が昨年同期の同程度であるため、働きかけを強めていきたい。			

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 9		<進路指導部>		
	生徒	保護者	教員	
	学校は、進路に関する情報を充分提供している。	学校は、進路に関する情報を充分提供している。	学校は、進路に関する情報を充分提供している。	
結果	教員			
	保護者			
	生徒			
		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%		
原因及び反省	○昨年同期と比べて、AとBの数値が5%、生徒は2%増加している。進路便りや学年通信をホームページに掲載したりメール配信した結果と考えられる。			
	○これまで同様、メール配信、ホームページと紙媒体を併用しながら情報を提供していく。 ○C、Dを回答した生徒、保護者の必要としている進路情報を把握し、情報提供する。			
改善策				

意識調査No. 10		<保健部・総務部・農業部>		
	生徒	保護者	教員	
	学校は、安全な学習環境づくり（コロナ感染防止等）に取り組んでいる。	学校は、安全な学習環境づくり（コロナ感染防止等）に取り組んでいる。	学校は、安全な学習環境づくり（コロナ感染防止等）に取り組んでいる。	
結果	教員			
	保護者			
	生徒			
		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%		
原因及び反省	○全体的に安全対策には取り組んでいるようである。数値にも現れている。			
	○予期せぬ出来事に対応できるように心がけ、組織的にも準備しておくことが大切である。 ○感染対策防止のための対策については継続していき、引き続き学校全体で取り組んでいけば良い。 ○ゴミ拾いを実施したほうがよい。（生徒コメントより）			
改善策				

令和2年度 福島県立相馬農業高等学校 学校運営・運営ビジョンに関する意識調査（第1回） 分析

A: 当てはまる（そう思う） B: だいたい当てはまる（だいたいそう思う） C: あまり当てはまらない（あまりそう思わない） D: 当てはまらない（そう思わない） 無回答

意識調査No. 11		<総務部・農業部>																					
	生徒	保護者	教員																				
	学校はホームページ掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	学校はホームページ掲載やメール配信などの情報発信に努めている。	学校はホームページ掲載やメール配信などの情報発信に努めている。																				
結果	<table border="1"> <caption>調査結果の割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>A (18%)</th> <th>B (40%)</th> <th>C (43%)</th> <th>D (0%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員</td> <td>18%</td> <td>40%</td> <td>43%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>33%</td> <td>53%</td> <td>12%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>34%</td> <td>45%</td> <td>18%</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	A (18%)	B (40%)	C (43%)	D (0%)	教員	18%	40%	43%	0%	保護者	33%	53%	12%	1%	生徒	34%	45%	18%	2%
	対象者	A (18%)	B (40%)	C (43%)	D (0%)																		
	教員	18%	40%	43%	0%																		
	保護者	33%	53%	12%	1%																		
生徒	34%	45%	18%	2%																			
原因及び反省	<p>○先生方が見ていない。（理由：学校生活を理解しているから）                  ○楽しみにしている保護者がいるようである。</p>																						
改善策	<p>○先生方にも目を通してほしい。                  ○見てくれている保護者も多く、生徒募集にもつながるので、係の先生以外の先生も発信できるとよい。                  ○イベントやホームページを更新するタイミングで、係の先生が声かけをする。                  ○日常生活（総合実習など）をホームページにあげてもよい。</p>																						